

コンクルの結果発表はもうすぐ

あの達人も登場!

ゴルフ川柳

第8回ゴルフ川柳コンクルの選考結果は大型連休明けの5月27日号で発表予定。毎回、数千の応募作が寄せられる人気企画で、今年も力作が山のように届いた。今回は発表に先がけ、ゴルフ川柳の人気つづりをコースとプレーヤーが証明する

ゴルフ川柳推しコース発見!

益子ヒルズGC (栃木県)

「老若男女のお客様に大好評です」

ゴルフ川柳に注目している人やゴルフ場は少なくなく、益子ヒルズGC (栃木県) もそのひとつ。陶芸の「益子焼」で有名な益子町の北部丘陵地帯にあるカジュアル

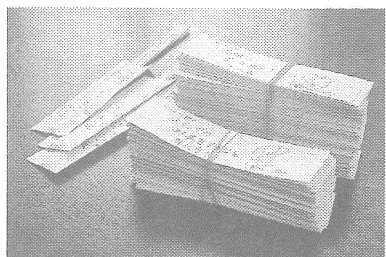
なゴルフ場だが、ハウスに入ると「ゴルフ川柳」があちこちに。2階レストランに上がる階段にはゴルフ川柳が書かれた短冊がズラリと並ぶ。「あれ、お客様が上がっ

と短冊や箸袋、おしぼりの袋に書き写すようになった。箸袋は大量だが、同じ川柳は基本的に書かず、違ったものを一つ一つ書きした。すると、老若男女のゴルフファータから好反応。

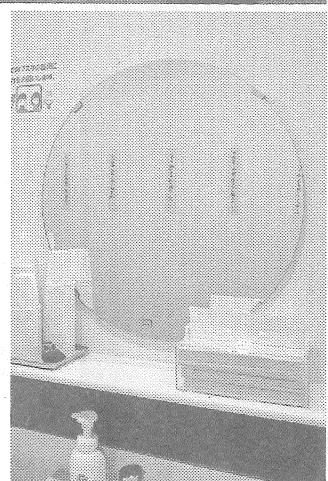
「うちのコースは家族経営で、私は主にレストランにいるんですけど、料理を提供する前にまずおしぼりや箸などを運びます。すると4人それぞれに違った川柳が来るので、そこで皆さんワイワイと。『料理はまだですか?』と聞かれることがなくなりました(笑)。『私の前半のプレーを見ていたんですか?』と尋ねられて

そこで話が盛り上がることも(幸子さん)。ゴルフファアのあるあるを詠むゴルフ川柳は、実はすべてのゴルフファアに心当たりがあるような内容なので、みんなの心に響く。

さらに、すべて手書きなのが味があり、これも人気の理由のひとつ。丁寧にペンを走らせているのは幸子さんと実母の伏木ケイさん(90歳)。ケイさんは、現在、施設に入所している



手書きの川柳入りの箸袋が出番を待つ



手洗いは鏡越しにもゴルフ川柳が見える

なつていらつしやることはよくありますよ」と、同GCの社長・岩崎秀樹さんと妻の幸子さん。きっかけはコロナ禍。「お客様



でこないなと思つたら、ゴルフ川柳を読むのに夢中になつていらつしやることはよくありますよ」と、同GCの社長・岩崎秀樹さんと妻の幸子さん。

が減ってしまった時期がありました。私たちが手持ち無沙汰だったのかもしれませんが、わざわざ来てくださる方たちに何とか楽しんでほしくて(幸子さん)、小誌に掲載されていた「ゴルフ川柳コンクル」に注目。ユニークな川柳に自分たちがクスリとしながら、黙々

「文字にしながらクスッと笑っています」



家族で切り盛りする益子ヒルズGCの扇の要、岩崎秀樹さんと幸子さん夫妻。「何でも自分たちで作っちゃいますよ」。ゴルフ川柳の手書き担当は幸子さんとお母さん。

が「実は義母は若い頃に俳句を嗜んでいて、選者を務めていたこと。テレビにも出たんですよ」と秀樹さん。もともと親しみがある川柳を手書きすることが、ケイさんの脳トレにもなっているのだという。「お客様に『90歳の母が書きました』と言うと『縁起がいい』と喜んでいただけて。それを母に伝えると、母も喜んで(幸子さん)。感激した客からケイさんにお礼の手紙を渡されたり、オリジナルの川柳を自作する人も現れた。川柳を介したクリエイティブな好循環が起きた。

で、砲台グリーンも自社で造りましたよ(秀樹さん)。客にも同好の士がたくさん。「ハウスの入り口やティーマークが特産のいちごモチーフなんです。常連さんが作ってくれたんです。彼も何でも自分で作る人なんです。2011年には震災の被害に、2012年には竜巻の被害に遭った同コース。竜巻ではカート30台が全部吹き飛ばされ、コースもハウスも損傷を負ったが、創意工夫で乗り越えた。コロナ禍での客の減少がきっかけで始まった「ゴルフ川柳推し」もすっかり同コース名物で「災い転じて福となす」とはこのことかも。ゴルフ川柳好き、手作り大好きクリエイティブ派のゴルフファアは要注目!